



公開日: 2021 年 6 月

更新日: 2022 年 1 月

ArcGIS Pro 移行ガイド

組織を ArcMap から ArcGIS Pro に移行するための
基本的なタスク

タスクのチェックリスト

タスク	完了
1. ArcGIS Pro の概要	<input type="checkbox"/>
2. ArcGIS Online の設定	<input type="checkbox"/>
3. ArcGIS Pro の割り当て	<input type="checkbox"/>
4. ダウンロードとインストール	<input type="checkbox"/>
5. コンテンツを ArcGIS Pro に移動	<input type="checkbox"/>
6. 実践学習での探索	<input type="checkbox"/>
7. その他	<input type="checkbox"/>

1. ArcGIS Pro の概要

Esri の次世代のデスクトップ GIS である ArcGIS Pro に組織移行することを決定していただき、ありがとうございます。1つのソフトウェアを中心に何年もかけて築いてきたワークフロー、データ、スキルがある場合、移行は非常に面倒な作業に思われるかもしれませんが。このガイドの目的は、移行プロセスを管理しやすくすることです。ArcGIS Pro がもたらす利点を考えると、このプロセスに十分な価値を見出すことができるでしょう。

ArcGIS Pro の主な特長

2015年に初めてリリースされた ArcGIS Pro は、Esri の統合化された ArcGIS システムのデスクトップコンポーネントです。ArcGIS Pro は ArcMap のアップデート版ではなく新しいアプリケーションであり、最新の技術が導入されている一方で、これまでの機能も保持する設計になっています。ArcGIS Pro は、優れた計算能力、直感的でアクセスしやすい設計、高度な共有機能などを特長としています。

ArcGIS Pro に移行した場合の利点を次に挙げます。

- **処理速度に優れた最新のアプリケーション:** ArcGIS Pro は、64ビットのマルチスレッドアプリケーションです。優れた処理エンジンとアップグレードされた表示エンジンにより、迅速な解析とレンダリングを実現できます。
- **直感的なワークスペース:** ツールバーの代わりに、アプリケーション内での実行内容に応じて更新されるカスタマイズ可能なリボンが導入されています。ツールバーやダイアログボックスを探索する必要がなく、必要なときに必要なツールが表示されます。

- **カスタマイズ可能なユーザー インターフェイス:** ArcGIS Pro のワークスペースは、ドッキング可能なビューとウィンドウで構成されています。つまり、シンボルやジオプロセッシング ツールの操作とマップ、テーブル、レイアウトの操作を簡単に切り替えることができます。
- **プロジェクト ベースの設計:** ArcGIS Pro の処理単位は **プロジェクト** です。1 つのプロジェクトに複数のマップ、3D シーン、レイアウトを挿入できます。数回クリックするだけでプロジェクトをパッケージ化し、クラウド経由で共有したりファイルとして共有したりできる便利な形式にすることができます。また、プロジェクトが存在しない ArcGIS Pro を開き、データ管理タスクを実行することもできます。
- **簡単な共有:** ArcGIS Pro は、ArcGIS システムとしっかりと統合されています。プロジェクト、マップ、レイヤーなどのコンテンツは、ArcGIS Online や ArcGIS Enterprise でシームレスに共有できます。 [ArcGIS Living Atlas of the World](#) は、Esri が管理しているデータとベースマップのリソースであり、何百万ものサードパーティ データセットが含まれていて、ArcGIS Online から利用できます。ArcGIS Pro を使用すると、組織の Web コンテンツや Living Atlas データに簡単にアクセスして、作業に活用できます。
- **ArcMap との互換性:** ArcMap バージョンで作成されたマップ、レイアウト、シンボル、モデルを [ArcGIS Pro に移植](#) できます。多くの場合、変更の必要はありません。ArcGIS Pro で動作するように Python スクリプトを簡単に更新することができます。ArcGIS Pro にプロジェクトが存在する場合に、これまでと同じすべての機能 (ごくわずかな例外が存在する) だけでなく、ArcMap には用意されていなかった新しい機能も使用できます。ArcGIS Pro プロジェクトを ArcMap に戻すことはできませんが、同じコンピューターから ArcGIS Pro と ArcMap の両方を実行し、同じデータ ソースを使用することができます。

現実世界の問題の解決

芸術的なマッピング、データ駆動型の解析、3D モデルなど、ArcGIS Pro には、多種多様な業界で使用されるさまざまな機能が用意されています。ArcMap のバックグラウンドがあれば、組織が ArcGIS Pro で何を実行しようかと計画しているかをすでに理解しているかもしれませんが、次のシナリオでは、ArcGIS Pro を使用して新たな方法でさまざまな問題に取り組む方法を示しています。

各シナリオには実践演習が付属しており、自分または同僚はこのガイドの他のタスクが終了した後で演習に戻ることができます。経験豊富な GIS ユーザーでも、ソフトウェアの切り替えは習得に時間がかかります。実践演習は、ArcGIS Pro の設計と機能を覚えるための有益な手段であり、楽しく効果的に学習することができます。

- **カートグラフィ:** ArcGIS Pro では、場所感覚を呼び起こす美しいマップとビジュアライゼーションを作成し、説得力のある方法でデータを伝えることができます。たとえば、[北極海氷の減少](#)などの環境的傾向を視覚化することはできますが、可能性はほぼ無限にあります。ArcGIS Pro を使用して、Esri が管理している模範的なカートグラフィのコレクションである [Maps We Love](#) ギャラリー内のほとんどのエントリの作成に使用されました。
- **空間解析:** ArcGIS Pro を活用すると、小売、天然資源、国家安全保障など、さまざまな業界の専門職従事者は、データを使って複雑な空間上の問題に対処することができます。保全科学者が機械学習を使用して、[海草生育地を予測](#)する方法をご参照ください。
- **3D GIS:** 同じ ArcGIS Pro プロジェクト内で 2D データと 3D データの両方を解析できます。高度な 3D モデルは、この[建設計画](#)のチュートリアルのように、重要な意思決定を下す際に必要なビジュアライゼーションを提供します。

注意: ArcGIS Pro のシステム要件は、ArcMap と若干異なります。先に進む前に、システム要件を満たしていることを確認してください。 [こちらから詳細情報を入手してください。](#)

2. ArcGIS Online の設定

最新の ArcGIS Desktop ライセンスを所有しているユーザーは、ArcGIS Pro ライセンスと ArcGIS Online サブスクリプションもすでに所有しています。ArcGIS Online では、自分と自分のチームのメンバーをつなぐポータルが提供されます。ポータルを使用すると、チームのメンバーはデータを共有し、複数のマシンで ArcGIS Pro ライセンスを利用できるようになります。次のセクションで学習しますが、ポータルは、ライセンスを管理する場所でもあります。ArcMap のように単にライセンス ファイルをダウンロードするだけでは済まず、もう少し設定作業が必要ですが、このポータル接続を確立すると、職場の標準になるクラウドベースのコラボレーションを ArcGIS Pro で使用できるようになります。

注意: ArcGIS Enterprise を導入している場合は、このセクションをスキップしてください。詳細については、[ArcGIS Enterprise ライセンス ガイド](#)をご参照ください。

ArcGIS Online の設定方法の詳細については、『[ArcGIS Online 実装ガイド](#)』をご参照ください。このガイド全体に目を通す必要はありません。サブスクリプションのアクティブ化に関するセクション (4 ページ) とメンバーの追加に関するセクション (8 ページ) に記載された手順だけを実行してください。ArcGIS Online の主な用途は ArcGIS Pro ライセンスの管理です。

ヒント

- **既存の Esri アカウントの使用:** チームのメンバーが過去に別の目的で使用するために Esri アカウントを設定したことがある場合は、そのメンバーを組織に追加する際に、そのメンバーが選択したアカウントを使用して招待するオプションを選択します。ここで、2つのアカウントをマージする必要はあり

ません。アカウントのマージに関する質問は、[Esri カスタマー サービス](#)までお寄せください。

- **Esri アクセスの有効化:** メンバーが Esri トレーニング、Esri サポート、Esri コミュニティ、My Esri などのサイトにアクセスできるようにする場合は、この設定を有効にする必要があります。 [その方法をご覧ください。](#)

3. ArcGIS Pro の割り当て

ArcGIS Pro を除くすべての ArcGIS Desktop アプリに必要なライセンス タイプは単独使用または同時使用のいずれかです。おそらく ArcGIS License Manager を使用してコンピューターごとにライセンス ファイルをプロビジョニングすることに慣れていると思います。ただし、前述のとおり、ArcGIS Pro のデフォルトは、ユーザー アカウントに関連付けられた指定ユーザー ライセンスです。

組織が所有している ArcGIS Desktop ライセンスごとに、ArcGIS Online の Creator ユーザー タイプと ArcGIS Pro アドオン ライセンスも付属しています。ArcGIS Pro アドオン ライセンスのレベルは、ArcMap ライセンスと同じです (Basic、Standard、または Advanced)。

ユーザーに ArcGIS Pro へのアクセス権を付与するには、ArcGIS Online で [ユーザー タイプ](#) と [アドオン ライセンス](#) を割り当てます。チームのメンバーが変わった場合は、ユーザー タイプとアドオン ライセンスを別のメンバーに再割り当てすることができます。これで、これらのメンバーは、ArcGIS Pro がインストールされているコンピューターであれば、どのコンピューターからでも ArcGIS Pro を使用できるようになります。これによって、職場の柔軟性を高めることができます。

ArcGIS Enterprise を使用している場合は、[Portal for ArcGIS](#) で [ArcGIS Pro ライセンス](#) を構成する方法を確認してください。

代替ライセンス オプション

ArcGIS Online でのライセンス認証はデフォルトですが、これは ArcGIS Desktop ユーザーでは必須ではありません。1つまたは複数の ArcGIS Pro アドオンを [単独使用](#) または

同時使用に変更することにより、ArcMap で使用しているライセンス設定を維持することができます。組織のメンバーはまだ ArcGIS Online にサインインして、マップを共有したり、Web コンテンツにアクセスしたりできますが、そのメンバーの認証情報はライセンスに関連付けられていません。その代わりに、ArcMap と同様に、ライセンスをコンピューターごとに別々に認証する必要があります。

4. ダウンロードとインストール

ArcGIS Pro をチームのメンバーに割り当てると、組織の主な保守担当者は ArcGIS Pro のダウンロードとインストールができるようになります。この担当者は、Esri カスタマーサービスとやり取りして、ソフトウェアの有効性を保持します。主な保守担当者が不明な場合や新しい担当者を指名したい場合は、[カスタマーサービス](#)にお問い合わせください。自分がこの役割を担っていない場合は、このセクションを該当する担当者に渡してください。

ArcGIS Pro を[ダウンロード](#)して[インストール](#)する手順を入手してください。

ヒント

- **組織の接続:** ArcGIS Pro をダウンロードする前に、新しい ArcGIS Online 組織を My Esri に接続させておく必要があります。このためには、My Esri にログインして、[組織] タブをクリックし、プロンプトに従って権限をリクエストします。
- **必要に応じて認証:** ArcGIS Online を使用してユーザー タイプをすでに割り当てている場合、組織のメンバーは ArcGIS Pro の開始時にのみログインする必要があります。ライセンスを単独使用または同時使用に変更した場合は、認証番号と詳細な手順が記載された電子メールを受け取っているはずです。この情報は、My Esri の [組織] タブにある [ライセンス] エリアでも確認できます。[単独使用](#)および[同時使用](#)ライセンスの認証方法を確認してください。

メンバーに独自のソフトウェアのダウンロードを許可

セキュリティ上の理由と管理上の理由で、組織のメンバーはデフォルトで ArcGIS Pro をダウンロードできません。管理者は、ダウンロードプロセスを管理できます。また、各メンバーが独自のソフトウェアをダウンロードするのを許可することもできます。

5. コンテンツを ArcGIS Pro に移動

ArcGIS Desktop コンテンツを ArcGIS Pro に移動させるプロセスは簡単です。お気に入りのスタイルと Python スクリプトをインポートすることもできます。組織構成によっては、次のワークフローを自分が利用した方がよい場合もあれば、チームのメンバーに渡した方がよい場合もあります。

ArcMap ドキュメントを ArcGIS Pro にインポート

マップ (.mxd)、シーン (.sxd)、およびグローブ (.3DD) を ArcGIS Pro プロジェクト (.aprx) にインポートすることができます。計画されたワークフローによっては、これらのドキュメントのいくつかを1つのプロジェクトにインポートした方が効果的な場合があります。

ArcGIS Pro プロジェクトを開始し、リボン上の [マップのインポート] ボタンを使用して、目的のファイルを探します。マップが開き、ArcMap での外観と同じになるはずです

。通知を調べて、インポートに関するメッセージを確認することができます。 [詳細な手順をご参照ください](#)。

スタイルを ArcGIS Pro にインポート

ArcMap スタイル (.style) を ArcGIS Pro スタイル (.stylx) に変換する必要があります。これには、2通りの方法があります。多くのスタイルはすでに ArcGIS Pro に変換されており、ArcGIS Online で使用することができます。 [スタイルを検索する方法と追加する方法を確認してください](#)。また、ローカルに保存しているスタイルをインポートすることもできます。 [スタイルをインポートする方法を確認してください](#)。

ArcGIS Pro に合わせて Python スクリプトを変更

ArcGIS Pro では Python 3 が使用され、ArcMap では Python 2 が使用されます。このため、ArcMap 用に作成されたスクリプトとカスタム ジオプロセッシング ツールを ArcGIS Pro で動作するように変更する必要があります。 [ArcGIS Pro で実行するツールの分析 (Analyze Tools For Pro)] ジオプロセッシング ツールを使用して、変更を加える必要のあるコードの領域をハイライト表示することができます。また、Python 2to3 ユーティリティを使用すると、このプロセスの大部分を自動化できます。 [Python の移行に関する詳細を確認してください](#)。

6. 実践学習での探索

ArcGIS Pro では、最新の進化したデスクトップ GIS を利用できる一方で、これまで ArcMap で行っていたことも事実上まだ実行することができます。ただし、この新しいレイアウトに慣れるためにソフトウェアの操作に少し時間をかける必要があります。

ArcGIS Pro の直感的な設計によって、ソフトウェアを簡単に学習できるようになっています。どこから始めればよいかわからない場合は、プロセス全体をサポートおよびガイドするさまざまなレッスンとドキュメントが用意されています。

ArcGIS Pro の使用を開始

ArcGIS Pro の詳しい紹介は、[ArcMap ユーザー向けのセミナー](#)を視聴するか、この[講師指導コース](#)を修了してください。その後、このガイドの先頭に戻って[ケーススタディ](#)を参照し、付属のチュートリアルに従ってください。

7. その他

ArcGIS Pro への移行は、自分と自分のチームのための学習過程です。このセクションに示されているリソースは、トラブルシューティング、質問への回答、その他のトレーニングリソースの検索に役立ちます。

- ArcGIS Pro への移行に関する詳細なガイダンスは、Maribeth H. Price 著の『[Switching to ArcGIS Pro from ArcMap](#)』に記載されています。
- より実践的な学習を体験していただくために、[Learn ArcGIS](#) に多数の無料チュートリアルが用意されています。[Esri Academy](#) で、さまざまな教育用リソースを利用することもできます。
- [Esri コミュニティ](#) の ArcGIS Pro コミュニティに参加してみてください。ここでは、ディスカッションに参加したり、ArcGIS Pro ユーザーと Esri スタッフからなるさまざまなグループのブログ記事を読んだりすることができます。Esri チームが直接発信するさらに多くのニュースを確認するには、[ArcGIS ブログ](#) をフォローしてください。
- [ArcGIS Pro リソース](#) ページをご覧ください。このページは、ニュース、学習教材、ビデオ、ドキュメントなど、ArcGIS Pro に関するすべてのものを集約するハブです。

トラブルシューティングとサポート

ArcGIS Pro のサポートをお探しですか？ 次のリストをご確認ください。

- ArcGIS Pro [ヘルプ](#)は、キーワードで検索可能であり、プログラム設定から個別のツールまで、すべてのドキュメントが格納されています。
- [Esri コミュニティに問い合わせ](#)て、同僚や Esri の ArcGIS Pro チームのメンバーから具体的な回答を受け取ってください。
- これらのオプションをすべて使用しても、まだ支援が必要であれば、技術的な問題については [Esri テクニカル サポート](#)、ライセンスの問題については [Esri カスタマー サービス](#)にお問い合わせください。

ArcGIS Pro ヘルプのよくあるご質問 (FAQ) をご参照ください。